

## 大和小学校は13歳になりました 大和小学校のことをもっと好きなみんなにしよう ～大和小学校のために、何ができる？～

### 本単元での情報活用能力の具体

【情報の収集】手法11：WEBアンケート作成ツールを活用して情報を収集

1 日 時 令和7年6月6日（金）5校時 13:15～14:00

2 場 所 6年生教室

3 学年・学級 6年1組 29名 自閉症・情緒障害学級 4名

#### 4 単元設定の理由

##### (1) 単元観

第6学年の探究テーマは「地域貢献」である。本単元は、最高学年になった6年生にとって、大和小学校はどのような存在であるか、もう一度考え、大和小学校をもっと好きになってもらうために取り組んでいく単元である。この単元において、大和小学校のことをもっと好きになってもらう取組の中で、一人一人が自分のよさや得意なことを発揮している姿を目指している。

この単元の本質的な問いは、「今後、私は大和小学校とどのようにかかわっていけばよいのか？」である。また、この問いを児童と共に考えるために、単元を貫く問いを「大和小学校のために、何ができる？」と設定した。

##### (2) 児童観

本学年の児童は、男女関係なく非常に仲がよく、協力して取り組む姿が多く見られる。また、総合的な学習の時間で、大和町を題材とした課題解決に取り組んできた。これまでの学習を振り返り、探究的に学習を進めることに関して児童にアンケートを実施したところ、以下のような結果となった。

質問	肯定的回答率
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。	92.6%
総合的な学習の時間の授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか。	96.3%
総合的な学習の時間の授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。	96.3%
総合的な学習の時間の授業では、分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。	96.3%
総合的な学習の時間の授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか。	96.3%

この結果を踏まえ、児童の現状を次のように考察した。どの項目に対しても、肯定的評価が非常に高く、前向きに学習に取り組んでいることが考えられる。また、地域や社会に対しても、何かをしていきたいと考えている児童が多い。一方で、肯定的評価でも、「どちらかといえば、当てはまる」と回答している児童がどの項目も半数程度見られる。自ら主体的に学習に取り組むというよりも、友達に声をかけてもらって取り組んでいる児童もいると考えられる。一人一人が自分のよさを自覚し、それを発揮できる場面を設定していくことが大切であると考えられる。

### (3) 指導観

この単元の中で、探究が自律的に行われるようにするために、次の3点に留意する。

1点目は、「社会参画」の意識を持たせることである。6学年では、探究テーマを「地域貢献」とし、大和小学校をもっと好きになってもらうためのプロジェクト型学習を実施する。そのため、だいわ元気まつり実行委員会に取組の発表の場としてのお願いをさせていくことで、地域の方の思いに実際に触れていく。そして、まつりで実際に発表することで、地域社会に関わる喜びなどを実感させ、大和町との今後の関わり方について考えさせる。

2点目は、自分の好きなことや得意なことを生かしたグループ活動を取り入れ、「自己課題」を設定できるようにする。その際、5年生で行った「華 kin カフェ」での販売活動を振り返らせ、どのような活動があったのか想起させるとともに、自分の好きなこと・得意なことを生かせる係を選択させ、グループごとに準備を進める。

3点目は、学習活動の形態を小さくし、一人一人の「運用」の力を高めることである。1サイクル目では、5年生の活動をもとにグループを設定し、2サイクル目では、元気まつりで実施したアンケートをもとに、新たな課題を設定していく。また、グループごとに活動や、取組の練習の中でも、自ら課題を見つけ、解決できるように、話し合う場面を設定する。

## 5 単元の目標

○大和小学校のリーダーとして大和小学校のことをもっと好きになってもらうイベント実施を通して、大和小学校のよさを理解し、確かな見通しをもって計画を立てるとともに、これからの大和小学校や大和町との関わり方を考えながら生活できるようにする。

## 6 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>【①知識】 太鼓を発表することを通して、大和小学校には様々なよさがあることを理解している。</p> <p>【②技能】 自分の好きなこと・得意なことを生かして、発表に向けて係に応じた成果物を製作している。</p> <p>【③探究的な学習のよさの理解】 太鼓を発表することが、大和小学校のためだけでなく、今後の自分自身の生き方に深くかかわっていることを理解している。</p>	<p>【④課題の設定】 だいわ元気まつりで発表するためには、係ごとに何をどのように行っていくか見通しをもって計画を立てている。</p> <p>【⑤情報の収集】 係ごとに太鼓を発表するために必要な情報を効率的に収集する手段を選択している。</p> <p>【⑥整理・分析】 出てきたアイデアの中から視点をもち、比較したり関連付けたりして、確かな理由をもっている。</p> <p>【⑦まとめ・表現】 整理してまとめたスライドを相手にわかりやすく効果的に伝えている。</p>	<p>【⑧-1 自己理解】 これまでの自分の生活を見直し、自分の好きなこと・得意なことを理解しようとしている。</p> <p>【⑧-2 他者理解】 解決方法について異なる意見や他者の考えを聞き入れようとしている。</p> <p>【⑨主体性・協働性】 自分もしくは他者の良さを生かしながら、協力して太鼓の発表に取り組もうとしている。</p> <p>【⑩将来展望・社会参画】 実社会との関わりの中で、自己の生き方を考え、自分事として取り組もうとしている。</p>

## 7 本単元での情報活用能力の具体

自分たちの和太鼓の演奏を聞いて大和小学校のことをもっと好きになってもらったのか調べるために、Google Forms を用いてアンケートを作成し、参観者（地域の方・保護者の方）に回答してもらった。また、この結果をもとに、次の発表に向けて、どんなことに取り組んだらよいか、新たな課題を設定した。

(児童作成資料と結果)

大和小学校のことを今までどのように思っていましたか？

本文回答

---

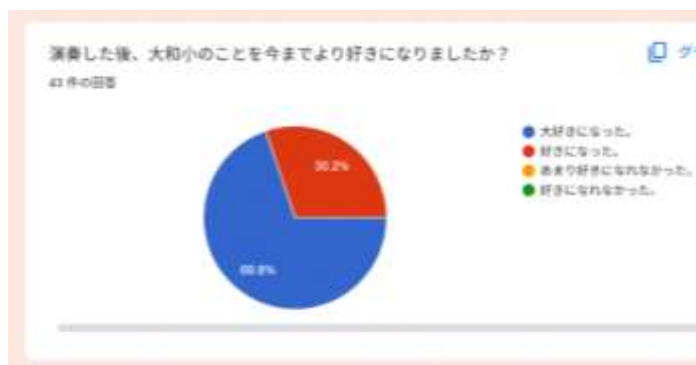
演奏した後、大和小のことを今までより好きになりましたか？

大好きになった。

好きになった。

あまり好きになれなかった。

好きになれなかった。



団結力があつた

明るく話してくれて気持ちが良いです

子ども達が生き生きとしていい笑顔でいる

大和町を盛り上げようと頑張っていた。

一生懸命演奏しているところ

一生懸命頑張る姿や地域行事に積極的に参加している姿がより好きになりました！

子供が頑張っている

子どもたちの真剣な眼差し！

声をしっかり出して協力しているところ

8 指導と評価の計画 (全 60 時間) 本時 13/60

次	時	学習内容	児童の思考の流れ	観点			単元の評価規準 (評価方法)
				知	思	主	
一	1	本時の目標：大和小学校のことを振り返り、今後取り組むべきことを考えよう。					
	2	<p>○これまでの生活を振り返り、大和小学校のよさを考える。</p> <p>○大和小学校をもっと好きになってもらうために自分たちにはどのような取組ができるか考える。</p>	<p>・大和小学校のよさって、どんなことがあるだろう。</p> <p>・自分たちが大和小学校をもっと好きになってもらうためにできることはなんだろう。</p>				
一	3	本時の目標：どんなイベントができるか、情報を収集しよう。					
	5	<p>○大和小学校をもっと好きになってもらうために、どんなことができるか調べる。</p>	<p>・これまでの6年生は、太鼓の発表をしていたな。</p> <p>・私たちは、どんなイベントをすればいいだろう。</p>				

	6	本時の目標：収集した情報を基に、イベントを考えよう。				
	～ 9	○アイデアを出し合い、 収集した情報を整理・分析する。	・これまでと同じように、太鼓の発表をすれば、もっと好きになってもらえるはずだ。 ・合奏をしても、よさが伝わるんじゃないかな。			
		○よさが伝わるように、プレゼンできるよう準備する。	・一生懸命がんばっている姿を見てもらえたら、好きになってもらえるんじゃないかな。		⑥	出てきたアイデアの中から視点をもとに、比較したり関連付けたりして、確かな理由をもっている。 【⑥整理・分析】(ワークシート)
	10	本時の目標：大和小学校のことをもっと好きになってもらえるイベントを選ぶプレゼンをしよう。				
	～ 11	○まとめたことのプレゼンを練習する。	・国語で学習したことを生かして、プレゼンしたいな。			
		○児童相互でプレゼンを行う。	・なぜ、自分たちがこのイベントを考えたのか、その理由をしっかりと伝えよう。		⑦	整理してまとめたスライドを相手にわかりやすく効果的に伝えている。 【⑦まとめ・表現】(プレゼン)
二	12	本時の目標：だいわ元気まつりでの発表に向けて今後の計画を立てよう。				
	～ 14	○大和小学校のことをもっと好きになってもらうためのイベントを決定する。	・それぞれよさがあつたけど、この取組をみんなががんばってやっぺいこう。			
		○元気まつりで発表するために、どんな係が必要か考える。	・5年生の時に「華 kin カフェ」で販売活動したことを活かすことができないかな。			
		○係ごとに分かれ、計画を立てる。	・この係では、chromebookを使って、アンケートを制作するからパソコンが得意な自分の良さを生かせるな。		④	だいわ元気まつりで発表するためには、係ごとに何をどのように行っていくか見通しをもって計画を立てている。 【④課題の設定】(ワークシート)
	15	本時の目標：係ごとに、何をしなければいけないか必要な情報を収集しよう。				
	～ 17	○係ごとに、必要な情報を収集する。	・衣装係として、去年6年生が着ていたような T シャツ		⑤	係ごとに太鼓を発表するために必要な情報を効率

		<p>を作りたいな。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・紹介するためのポスターは、国語で学習したことが使えそうだね。</li> </ul>				<p>的に収集する手段を選択している。</p> <p>【⑤情報の収集】(ワークシート)</p>
18	本時の目標：収集した情報をもとに、イベントの実現に向けて必要なものを準備しよう。					
～ 44	<p>○収集した情報をもとに、衣装やポスター、アンケートを作ったり、取組の練習をしたりする。</p> <p>○元気まつり実行委員会に参加して、プレゼンを行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートの項目は、どんなものを入れたらいいだろう。</li> <li>・自分たちの取組を受け入れてもらえるように、説明したいな。</li> </ul>	②		⑧	<p>自分の好きなこと・得意なことを生かして、発表に向けて係に応じた成果物を製作している。</p> <p>【②技能】(成果物)</p> <p>解決方法について異なる意見や他者の考えを聞き入れようとしている。</p> <p>【⑧-2 他者理解】(行動観察・ワークシート)</p>
45	本時の目標：元気まつりで発表して、大和小学校のことをもっと好きになってもらおう。					
～ 46	<p>○元気まつりで発表して、見ていた方にアンケートを実施する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方に自分たちの頑張っている姿を伝えることができたな。</li> <li>・どんな感想を持ったのか、アンケートで聞きたいな。</li> </ul>			⑩	<p>実社会との関わりの中で、自己の生き方を考え、自分事として取り組もうとしている。</p> <p>【⑩将来展望・社会参画】(R80)</p>
47	目標：元気まつりを踏まえて、次の課題を見つけよう。					
～ 48	<p>○元気まつりで発表したことをもとに、うまくいったことやいかなかったことを振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上手いかなかったところがあるから共有して修正したいな。</li> </ul>				
49	目標：さらに好きになってもらうためには、どんなことができるだろう。					
～ 50	<p>○係ごとに、5年生や元気まつりに向けた取り組みを振り返らせ、何ができるか考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今度は、おうちの人や児童にアンケートをとってみたいな。</li> <li>・Tシャツ以外にも、何か身に付けるものが作れないかな。</li> </ul>				
51	目標：収集した情報をもとに、イベントの実現に向けて必要なものを準備しよう。					
～ 58	<p>○収集した情報をもとに、衣装やポスター、アンケートを作ったり、取組の練習をしたりする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今度は、大和小学校の体育館で発表するから、ポスターの内容を変えないといけないな。</li> <li>・新しい曲にも挑戦して、おうちの人をびっくりさせたいな。</li> </ul>			⑨	<p>自分もしくは他者の良さを生かしながら、協力して太鼓の発表に取り組もうとしている。</p> <p>【⑨主体性・協働性】(行動観察)</p>

59	目標：これまでの学習を踏まえ、イベントを実施しよう。				
	○参観日で発表する。  ○保護者にアンケートを実施する。	・新しい曲もできて、よかったな。 ・元気まつりのときよりも、よくなったな。 ・発表参観日を通して、大和小学校のことをもっと好きになってくれたかな。	①		太鼓を発表することを通して、大和小学校には様々なよさがあることを理解している。  【①知識】(ワークシート)
60	目標：活動を振り返り、大和町との関わり方や自身の生き方について考えよう。				
	○1年間の取り組みを振り返る。	・大和小学校のことをもっと好きになってもらえてよかったな。 ・これからも、大和小学校や大和町のために、できることを考えて、取り組んでいきたいな。	③	⑧	太鼓を発表することが、大和小学校のためだけでなく、今後の自分自身の生き方に深くかかわっていることを理解している。  【③探究的な学習の良さの理解】(振り返りシート)  これまでの自分の生活を見直し、自分の好きなこと・得意なことを理解しようとしている。  【⑧-1 自己理解】(行動観察・R80)

## 9 本時の展開

### (1) 本時の目標

- 係ごとに分かれ、元気まつりでのイベントの実施に向けて計画を立てる。

### (2) 本時の評価規準

- だいわ元気まつりで発表するためには、係ごとに何をどのように行っていくか見通しをもって計画を立てている。【④課題の設定】(ワークシート)

### (3) 本時の評価基準

十分満足できる状況 (A)	おおむね満足できる状況 (B)	努力を要する状況 (C)
5年生までの学習を振り返りながら、だいわ元気まつりで発表するために、どんなことが必要か係ごとに見通しをもって流れまで考えて設定している。	5年生までの学習を振り返りながら、だいわ元気まつりで発表するために、どんなことが必要か係ごとに設定している。	Bを満たしていない。

### (4) 本時の学習展開

学習活動	○指導上の留意点 ◆努力を要する児童への指導の手立て	◇教科の評価規準 (評価方法)
------	-------------------------------	--------------------

導入	<p>○係ごとに前時の内容を想起し、学習目標を把握する。</p>	<p>○系のメンバーを確認し、リーダーを中心に話し合いを進めていくことを確認する。</p> <p>◆5年生の時の「華 Kin カフェ」でどのような活動をしたのか想起させる。</p>	
<p>本時のめあて：係ごとに分かれ、元気まつりでのイベントの実施に向けて計画を立てよう。</p>			
展開	<p>○係ごとに元気まつりでのイベントの実施に向けて準備を進める。</p>	<p>○基本的にはグループリーダーの指示で活動を進めていくが、教師は「大和小学校をもっと好きになってもらう」という目的から逸れないように適宜助言する。</p> <p>◆係ごとの仕事内容（発表するために必要なこと）を明確にさせ、それをもとに計画を考えさせる。</p>	<p>◇だいわ元気まつりで発表するためには、係ごとに何をどのように行っていくか見通しをもって計画を立てている。【④課題の設定】(ワークシート)</p>
まとめ	<p>○R80 を記入する。 ○R80 をシェアリングする。 R80 の記述例 アンケート係では、元気まつりでの発表が終わった後に、見てもらった人にアンケートを行っていく。そのために、自分はフォームでアンケートを作っていくことに取り組みたい。</p>	<p>○振り返りの視点を示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分または他者が本時の目標達成のために何をしたか。</li> <li>・進捗状況を振り返ってグループのために次回すべきことは何か。</li> </ul> <p>◆R80 のひな型を示す。 「○○係では、～の活動を行っていく。そのために、自分は、・・・をしていきたい。」</p>	

(5) 板書計画

<p>本時のめあて：係ごとに分かれ、元気まつりでのイベントの実施に向けて計画を立てよう。</p>				
<p>・○○係 すること</p>	<p>・○○係 すること</p>	<p>・○○係 すること</p>	<p>・○○係 すること</p>	<p>・○○係 すること</p>